



# 11月の園だより



令和6年11月1日  
目黒区立田道保育園長

運動会にたくさんのご参加、声援をありがとうございました。子どもたち一人ひとりが体育館でいきいきとした表情で参加している姿は、保護者の方々もときどきわくわくしたと思います。運動会をやりきったあとの子どもたちは『楽しかった』と充実した気持ちで一杯だったと思います。そして「かっこよかった」「がんばったね」と褒められた喜びはこれからの活動の意欲や自信に繋がっていくと思います。

過ごしやすい季節になってきたので乳児クラスは散歩に行く機会が増えました。0歳児クラスの子どもたちは保育室から保育士と一緒に出てくると階段まで力強くハイハイをしたり、歩き始める姿が見られるようになりました。散歩に行く4人乗りバギーにも慣れてきて、まわりをキョロキョロし、何が見えるのか何が聞こえるのか五感を使って新しい体験を楽しんでいます。1歳児クラスの子どもたちは歩行も安定して保育士から手を放して歩き始めます。「いってらしゃい」と声をかけると笑顔を見せて前に前に進む姿から、戸外に出て遊ぶことを楽しみにしている事が伝わってきます。帰園後にクラス担任に散歩の様子を聞いてみると、散歩に向かう途中で車が見えると「あっ ぶーぶ」とまわりの様子を真剣に見たり、散歩先の公園でトンボや花を見つけると、指差ししながら嬉しそうに駆け寄っているようです。2歳児クラスは大好きなクリーン公園に行き、探索を楽しんでいるようです。「ただいま」と頬を赤くして帰ってくると「おみやげ」と大きなどんぐりを沢山拾ってきたのを見せてくれました。「みて、このどんぐり ぼうしをかぶっているの」「こっちはまんまる」と誇らしげに見せてくれました。どのクラスも秋の自然をたくさん感じながら十分に戸外活動を楽しんでほしいと思っています。

## 🍁 今月の予定

交通安全教室（幼児クラス）

身体計測 避難訓練



## 来月のお知らせ

幼児クラスが「にこにこ子ども会」を行います。

詳細は別途連絡します

## 『こんなに大きい』

4・5歳児クラス

子どもたちは芋ほり遠足を楽しみにしていました。バスが出発すると「あとどれくらい」「もうつく」と早く芋を掘りたい気持ちでいっぱいの子どもたちです。到着すると「あっ、はたけがみえた」と身を乗り出して窓をのぞき込んでいます。芋畑に向かう姿からはワクワク感も伝わってきました。芋を掘り始めてすぐに「あった!」という一声が。「かたい」「ぬけない」という声や「せんせい、てつだって」という声も聞こえてきます。一人で難しい場合には周りの土を掘ることを伝えると一生懸命に掘っています。「とれたよ」「こんなに大きい」「つながっている」と自分で掘った芋を嬉しそうに見せてくれました。中々抜けずに苦戦している友達がいた時には手伝い、協力する姿もありました。掘った芋を選別し、持ち帰ろうとすると「重たい」「こんなに大きいのにしなければよかった」との呟きが聞こえてくるほど、大収穫の芋ほり遠足となりました。



# 🍁 戸外遊びの様子 🍁

散歩先で遊ぶ3歳・4歳・5歳児クラスの子どもの様子をご紹介します。

## 『秋みーつけた』

3歳児クラス（ぺんぎん組）

クリーン公園の奥に行くとドングリが落ちていることに気づいた子どもたち。「こっちに丸いドングリがあるよ」と教えてくれました。早速行ってみると「わあ、大きいドングリ」と大興奮です。ある子どもは「ドングリに穴が開いている」と少し違うドングリに気づいた様子です。「誰が開けたのかな」と聞くと「カラスかな」「何かあるかなって開けてみたんじゃない」とそれぞれがイメージを広げて話をしていました。木々の葉が赤くなっていることに気づくと「秋になってきたね」と話す姿もありました。また、木の切り株を見つけ、持ち上げてみるとダンゴムシが沢山出てきました。「ダンゴムシさんいっぱい出てきたよ」と大喜びで教えてくれました。公園にある自然の中から色々な“秋”を見つけて、秋の楽しみを味わっています。



## 『探検に行こう』

4歳児クラス（いるか組）

散歩に行くことを話すと「クリーン公園」とすぐに返事がくる程、いるか組お気に入りのクリーン公園。広い芝生に着くと「氷鬼やる人」とすぐに声上がり、鬼決めが始まります。そんな楽しそうな姿を見て、「入れて」と次々に加わり、気が付くと沢山の子どもが集まって走っています。しばらくすると聞こえるのが「そろそろ探検行く」という声です。公園の一番奥に行くことを“探検”と呼んでいて、虫が多くいるスポットを知っている子どもたちです。茂みに潜り「ねえ何か聞こえる」という一人の子ども声から周りの友達も耳を澄まして聞いています。「何かの声じゃない」「鈴虫だ」「秋だからじゃない」と聞こえた音から虫の姿を想像していました。実際に見つけることはできなかったのですが、“虫の声”だけでもワクワクを感じ、その発見を友達と共有することも公園での喜びの一つになっています。虫の音から秋を感じる姿に“虫が大好きいるか組らしさ”を感じました。

## 『まだまだ続くよ、運動会』

5歳児クラス（くじら組）

クリーン公園に出かけると子どもたちから「リレーやりたい」と声をかけてきます。保育士が「いいね、やろう」とバトンを準備していると「誰かやるひと」と参加する人を集めています。その言葉を聞いて「僕も入れて」「私もやる」と次々に集まってきました。最初は保育士がスターターをしていましたが「今度は私がやるよ」と子どもたちの方から声があがります。すると「ちょっと待って」と言い、ある子はラインが分かるようにコーナーに立って応援したり、またある子はゴールテープのように目いっぱい両手を広げて待っていたりしました。リレーをやるとなると真剣勝負、走る順番も皆で決めてチーム一丸となっています。リレーで走ることを楽しむだけでなく、保育士の姿をしっかりと見ていて、それぞれの役割を果たしながら運動会の再現を楽しんでいるくじら組です。

